

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3972100386
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村
事業所名	グループホーム かがみ
訪問調査日	平成21年3月24日
評価確定日	平成21年6月18日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3972100386		
法人名	社会福祉法人 ふるさと自然村		
事業所名	グループホーム かがみ		
所在地 (電話番号)	香南市香我美町岸本ルノ丸328-39 (電話) 0887-55-5070		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年6月18日

## 【情報提供票より】21年2月17日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 16年 6月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤 10人, 非常勤 2人, 常勤換算10.6 人	

## (2)建物概要

建物形態	単独	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000~33,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4)利用者の概要( 2 月 17日 現在)

利用者人数	18 名	男性	0 名	女性	18 名	
要介護1	2 名	要介護2	2 名			
要介護3	11 名	要介護4	3 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	86.7 歳	最低	79 歳	最高	97 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	かがみ診療所、南国中央病院、はしもと歯科
---------	----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは海岸沿いにあり二階から堤防越しに海が見える場所に立地している。毎日の散歩コースも堤防周辺である。利用者と職員との一体感、家庭的な雰囲気が溢れ、和やかな食事の準備等の共同作業、一日を通して常に歌声が聞かれる明るさの中で、安心して身を任せ暮らしている利用者の姿がある。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題については改善計画を立てて取り組み、地域密着型としての理念の作成、運営推進会議の双方向的な会議の運営、終末期に向けた方針の作成について、改善されている。入居希望者への複数職員による面接が出来ていないので、引き続き改善に取り組むことを期待したい。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者が職員の意見を聞き評価シートを作成し、全職員で話し合いを行っている。また、改善計画を立て、出来ることから改善に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所からの運営や行事の報告に対して出席者から積極的な発言もあり、双方向的な会議となっている。出された意見を前向きに捉え運営に反映している。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族来訪時には必ず声をかけ、近況を報告し相談にも応じている。特に苦情は聞かないが、家族が意見や要望を出せる場作りとして、家族会などの発足の支援を期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の自主防災組織への加入を申し込むとともに、自治会長に運営推進委員会への参加を働きかけている。地域活動としては、散歩時に堤防沿いのゴミ拾いなどに取り組んでいる。入居者は地域の出身者が多く、散歩時に顔見知りの地域住民との出会いもある。運営推進会議メンバーの民生委員の協力を得て、見守りや声かけの関係作りに努めている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  前回の評価の課題として職員全員で検討し、地域密着型としての理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  月に1～2回のミーティングで話し合い、意識づけをしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。  家族を介護する気持ちで、利用者中心の介護を心がけて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に加入している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  運営推進会議メンバーの民生委員や地元の職員等から情報を入手し、地域の行事への参加や催し物の見学等をしている。また、散歩時に堤防沿いのゴミ拾いを自主的に行ったり、近所の人との挨拶にも心がけている。	○	地域の自治会組織へ加入するなど、今後さらに、地域の一員として支え合いの関係づくりに期待したい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  管理者が職員の意見を聞き評価シートを作成し、全職員で話し合いを行っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。  改善計画を立て、出来ることから改善に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。  事業所の運営や行事の報告に対し、参加者からの意見等も活発に出され、双方向的な会議となっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。  日常的に地域包括支援センターとの連携や相談をしている。また、行政担当者の事業所への訪問もあり、交流している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。  来訪時には必ず声をかけ話し合っている。また、介護認定の申請等の相談にも応じている。  <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。  遠方の家族には手紙や電話で近況の報告を行っている。さらに家族との関係を構築していくためにも、定期的に暮らしぶりやエピソードを載せた事業所便りの発行など、検討することを期待したい。  <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。  電話で報告し、話し合っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。  金銭出納帳について定期的に報告している。なお、家族の来訪時に確認印又はサインをもらうことが望まれる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p><input type="checkbox"/>家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。</p> <p>事業所の敬老会行事には8名程度の参加があるが、家族会はなく、家族同士が話し合う場はない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。</p> <p>苦情があった場合は速やかに職員で話し合い、要因や対策を検討し家族に説明するなど、サービスの向上に取り組んでいる。</p>	○	<p>家族会を設けるなど、家族同士の集まりの場で意見や要望を出してもらい仕組みを作り、サービスの向上につなげていくことを期待したい。</p>
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。</p> <p>利用者にとって馴染みの職員が支援する体制に配慮しているが、さらに馴染みの関係づくりを築いていくため、担当制を検討している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。</p> <p>引継ぎ期間を一週間程度取り、スムーズに移行できるよう配慮している。</p>		
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。</p> <p>法人内研修を含め、全職員が研修に参加している。外部研修には職員が自主的に参加している例があり、職員の経験等の段階に応じ、事業所として研修計画を立てることを期待したい。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。</p> <p>研修受講後の研修報告書(自主的に参加した研修は強制ではないが提出を呼びかけ)は職員間で回覧を行っている。なお、職員会等で研修内容を報告する機会を作ることが望まれる。</p>		
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。</p> <p>全国の同業者のネットワークに加入している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。</p> <p>法人内の事業所間の交流のほか、市の集団指導の際など、同業者と交流し、サービスや質の向上につなげている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>入居に際して、本人、家族の意向を確認するとともに、心身の状態や病歴等を関係先から情報収集をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>必要に応じて、本人又は家族に見学、体験をもらっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者のみで面接している。</p>	○	面接は管理者のみに偏らず、複数の職員で行い、多面的、多角的に情報を収集することが望まれる。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>掃除や洗濯物の整理など、利用者が出来る範囲で役割を担い、職員と一緒にしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p> <p>会話やケアの中で、利用者の喜びや悲しみ、不安な思いを感じ取り、支え合っている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>職員一人ひとりが利用者との日常的な関わりの中から、暮らし方の意向等を把握するよう意図的に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>表情や態度から利用者の意向等を把握するとともに、家族からの情報を大切にしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。  日常のケアの中での気づきや家族の意見を聞き、計画に反映させている。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。  3カ月毎に見直している。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  転倒や介護レベルの悪化など、状況の変化があればその都度見直している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続ができるように努めている。  隣接の協力医療機関による月2回の往診や、随時に医療が受けられる協力体制が確立しており、ホームでの安心した生活が確保されている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  利用者や家族の要望に沿うよう対応している。事業所の季節行事として花見やミカン狩りなどを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  本人、家族の意向を尊重して希望する医療機関での受診ができるよう支援している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  基本的には家族対応にしているが、緊急時は職員が対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 前回の課題として看取りの指針を作成し改善している。看護師との情報交換も出来ている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。  本人、家族の意向に沿って、安心して最期が迎えられるよう医療連携して取り組む体制がある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。  日頃から、言葉遣いなどの声かけやプライバシーの確保について、職員同士で注意喚起をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。  会話や態度、表情から利用者一人ひとりの思いを把握し、柔軟に対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  調理の準備や片付けなど、利用者が出来ることを役割分担して職員と一緒に進めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  利用者の意向に沿って、屋間にゆっくり入浴出来る支援をしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  入浴の意思を確認しながら言葉かけなどに工夫し、さりげなく入浴につなげている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  教育経験者には俳句や詩作り、農業経験者には草引き、主婦経験者には料理や掃除などそれぞれの経験や知識を発揮する場面を作っている。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  洗濯物の整理やテーブル拭きなど、日常の家事の中で何らかの役割を担ってもらうよう働きかけをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>利用者の希望に沿って、市内の量販店や近隣のレストランに出かけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>毎日の日課に堤防周辺の散歩を取り入れている。また、市内周辺のドライブに出かけている。</p>		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。</p> <p>利用者の外出習慣や傾向を把握し、常に利用者の行動に気を配り、外出の際はさりげなく後をついていくなどの対応をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>散歩中の挨拶などを積極的に行い、顔見知りになるよう努力している。運営推進会議のメンバーの民生委員の協力で、見守り、声かけ等の関係づくりに取り組んでいる。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。</p> <p>年2回避難訓練を実施し、隣接する老人保健施設とは協力体制を築いているが、地域住民の参加、協力は得られていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。</p> <p>非常用食料については、県の社会福祉施設地震防災マニュアルに示す利用者、職員数に必要な備蓄量の目安(3日分)からすると十分ではない。</p>	○	<p>災害に備えて、避難訓練に地域住民の参加、協力を働き掛けるとともに、利用者、職員に必要な非常用食料等の準備を日頃からしておくことが望まれる。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 利用者毎に摂取量を記録し把握している。  <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 利用者の嗜好を把握するとともに、バランスの良い献立に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。  看護師がチェックしている。また、母体法人の栄養士に年1回のチェックを依頼していく。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 リビングにはソファーや畳スペースがあり、利用者が思い思いにくつろげる空間となっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 利用者の塗り絵や絵手紙を飾り付け、和みの雰囲気を醸し出している。  <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 季節に応じた飾り付けや、採光や遮音などにも配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 仏壇、家族の写真、タンス、テレビ、電話を置くなど、利用者に応じて個別に工夫している。  <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。		